これまでのADANの活動

日本建築設計学会は、2009年から始まった建築新人戦を運営してきたKASNET(Kansai Architecture School Network)を母体として生まれたものです。さらなる拡張と活動の充実を目指して、2014年に一般社団法人化し学会組織となりました。

一般社団法人日本建築設計学会設立

2014.4	Architects of the Year	2013 修士設計コンセプトマッチ1	2009 建築新人戦 第1回							
		修士設計コンセプトマッチ2	2014 建築新人戦 第6回							
2015.4	第1回AY展 4×4 Under40 Over40 竹山聖	修士設計コンセプトマッチ3	2015 建築新人戦 第7回			シンポジウム「設計有資定を考える」	『建築設計』01.02発行	第1回 日本建築設計学会賞 作品展・審査会	クリスチャン・ジラール講演会	
2016.4	第2回AY展 CHIKEI 園紀彦	修士設計コンセプトマッチ4	2016 建築新人戦 第8回	鯖江市 空き家調査	第1回アジア建築学生サマーワークショップ in大阪（鯖江）		『建築設計』03.04発行			
2017.4	第3回AY展 結境プロジェクト（この年から秋に日本橋の家で開催） 遠藤秀平	修士設計コンセプトマッチ5	2017 建築新人戦 第9回	サテライトオフィス モデル事業（鯖江市／総務省）	第2回アジア建築学生サマーワークショップ in大阪（鯖江&三原）		『建築設計』05.06発行	第2回 日本建築設計学会賞 作品展・審査会	アジール・フロッタン 再生展 東京・横浜・大阪・山口	
2018.4	第4回AY展 MINIMAL is MAXIMAL 小川晋一	修士設計コンセプトマッチ6	2018 建築新人戦 第10回	鯖江市 空き家調査	第3回アジア建築学生サマーワークショップ in大阪（鯖江&三原&都上）		『建築設計』07発行		アジール・フロッタン 再生展 in China （天津・瀋陽・大連・北京）	
2019.4	第5回AY展 自分に正直な建築 宮本佳明	修士設計プロレゴメナ サミット(7)		鯖江市 空き家調査	第4回アジア建築学生サマーワークショップ in大阪（鯖江&三原&津）		『建築設計』08発行	第3回 日本建築設計学会賞 作品展・審査会	アジール・フロッタン 復活プロジェクト	
2020.4	第6回AY展 After Covid-19 version 幹事による展示 竹口健太郎				第5回アジア建築学生サマーワークショップ in大阪（オンライン）		『建築設計』09発行		アジール・フロッタン かたちが語るとき展 浮上	
2021.4	第7回AY展 木造建築の いまとこれから 小見山陽介				第6回アジア建築学生サマーワークショップ in大阪（オンライン）		『建築設計』10発行	第4回 日本建築設計学会賞 作品展・審査会	アジール・フロッタン 復活プロジェクト ポストバブルの建築家展	
2022.4	第8回AY展 日本橋の家を読み、建築を展示する 五十嵐太郎	修士設計プロレゴメナ サミット(8)					『建築設計』11発行		アジール・フロッタン 物語展	
2023.4	第9回AY展 協働の実験: コンピューテーション エイジのデザインと建築機構修	修士設計コンセプトマッチ7						第5回 日本建築設計学会賞 作品展・審査会	アジール・フロッタン 物語プロジェクト	Another Point of View 建築を拡張する視座1
2024.4	第10回AY展 UNDER RENOVATION Thomas Daniell	修士設計コンセプトマッチ10	2024 建築新人戦 第16回	津山市城東リノベーション						Another Point of View 建築を拡張する視座2
2025.4 予定	第11回AY展	修士設計コンセプトマッチ11	2025 建築新人戦 第17回	津山市城東建築コンペ			『建築設計』12発行	第6回 日本建築設計学会賞 企画		Another Point of View 建築を拡張する視座3
2026.4										

ARCHITECTURAL DESIGN
ASSOCIATION OF NIPPON

2025

一般社団法人 日本建築設計学会

一般社団法人日本建築設計学会役員名簿　理事

会長（代表理事）：遠藤秀平　　副会長：竹口健太郎、松本明　　名誉会長：竹山聖

芦澤竜一	五十嵐太郎	石原健也	乾久美子	岩田章吾
上野武	宇野求	遠藤克彦	岡河貢	亀井暁子
河井敏明	北川啓介	城戸崎和佐	木下光	国広ジョージ
小見山陽介	隈研吾	倉方俊輔	光嶋裕介	小林克弘
篠原聡子	島田陽	末包伸吾	末廣香織	曽我部昌史
園紀彦	千葉学	槻橋修	手塚貴晴	陶器浩一
長坂大	西沢立衛	畑友洋	古谷誠章	堀口徹
前田茂樹	松岡拓公雄	萬田隆	宮本佳明	宗本晋作
吉田晋	李暎一	Thomas Daniell		

監事：林　陽一郎

賛助会員

特別賛助会員

ALINインターナショナル株式会社
アーキテクツ・スタジオ・ジャパン株式会社
アルコニックス株式会社
株式会社エイ・ダブリュ・エンジニアリング
積水ハウス株式会社
近未来建築社会実装機構株式会社
株式会社モクハウス
有限会社ライン工業

賛助会員

株式会社梓設計
株式会社新井組
株式会社アロイ
株式会社大林組
株式会社キタムラ
グラストップ株式会社
小池商事株式会社
三和シャッター工業株式会社
株式会社シェルター
清水建設株式会社
株式会社ジャクエツ
大成建設株式会社
大和重工株式会社
大和リース株式会社
株式会社竹中工務店
田島ルーフィング株式会社
株式会社東畑建築事務所
日鉄建材株式会社
フォルボ・フロアリング B.V. 日本支店
べにや無何有
銘建工業株式会社
株式会社安井建築設計事務所
淀鋼商事株式会社

※このパンフレットの情報は、2025年4月現在のものです。

日本建築設計学会

開くこと

専門領域と思われがちな建築を、
音楽やアートのように、
親しまれ楽しまれ語り合える
ジャンルにしよう。

Finding common ground between architecture and other cultural fields

味わうこと

旅をし、さまざまな地域の人々や
文化に触れ、語り合いつつ、
デザインを支える瑞々しい
感受性を養おう。

Pursuing varied experiences related to architecture

拓くこと

物に、言葉に、数式に、
描画になる以前の、
あるいはそれらの合わさった
想像力の可能性を拓いていこう。

Expanding the possibilities of architecture

伝えること

建築設計の喜びを次世代に伝え、
チャンスを与え、個性豊かな
設計者の育つ社会環境を
生み出していこう。

Conveying the joy of designing architecture

本法人は、建築設計及びその教育に関わる研究者の学術的交流と研鑽の為の組織化、および建築設計領域における総合的な質の向上をはかり、公益に寄与することを目的とする。

具体的には、個人として強靭な思考能力と倫理観を有する次世代建築設計者の育成に寄与し、建築設計の領域に開放性を与えるとともに他領域との連携を強化し、建築設計学並びに建築的思考の可能性を開拓し、国際交流や旅などを通した経験と知識の蓄積と共有を行い、建築並びに建築設計を文化として味わう喜びを広く世界に知らしむることを目的とする。

一般社団法人　日本建築設計学会　定款より

［事務局］
一般社団法人 日本建築設計学会
〒530-0047　大阪市北区西天満2-8-1　大江ビルヂング412号
メール：office1@adan.or.jp
www.adan.or.jp

機構表

総会

監事
林陽一郎

顧問
竹山聖（名誉会長）
足立裕司　上杉春雄　植島啓司
菊間潤吾　平野啓一郎　布野修司

理事会 ― 理事

事務局
藤井章弘
清貞光理
加賀美早希

会長（理事長）
会長　遠藤秀平
副会長　竹口健太郎　松本明

運営委員会（幹事会）
幹事長　遠藤秀平
幹事　遠藤克彦　倉方俊輔　光嶋裕介　竹口健太郎
竹山聖　團紀彦　槻橋修　島田陽
畑友洋　林陽一郎　堀口徹　前田茂樹
松本明　萬田隆　宮本佳明　小見山陽介
山口隆　Thomas Daniell　川西敦史
今村水紀　田路貴浩　村上心

総務企画委員会

- 「建築設計」編集委員会
- 建築設計学会賞授賞委員会
- 建築設計学叢書出版委員会
- 設計者選定を考える委員会
- 国際交流委員会
- 修士設計コンセプトマッチ委員会
- 産官学連携委員会
- 近未来建築構想提案委員会
- ワークショップ企画委員会
- ル・コルビュジエの船再生委員会
- 広報委員会
- 「論考建築設計」編集委員会

関西に拠点をおき
GlobalとLocalを結びつけます

アーキテクツ・オブ・ザ・イヤー津山巡回展と津山市城東地区のまちづくり

2024年11月17日から12月1日まで、第10回アーキテクツ・オブ・ザ・イヤーの巡回展を岡山県津山市にて開催しました。会場が位置する津山市城東地区は、重要伝統建築物が立ち並びながらも、新しい空間と機能を生み出すリノベーションが街全体で進んでおり、新旧が渾然と調和した様相を見せています。今回のアーキテクツ・オブ・ザ・イヤーのテーマ「アンダーリノベーション」と合致することから、津山街デザイン創造研究所の招きにより巡回展を開催することとなりました。

本巡回展では、大阪展で展示された9組の建築家の作品に加え、城東地区のリノベーション、岡山県で活動する2組の建築家の作品の展示も行いました。さらに、ル・コルビュジエの元で働いた吉阪隆正は津山出身の洋学者・箕作阮甫の子孫であり、津山はル・コルビュジエにゆかりがあることから、日本建築設計学会が所有するル・コルビュジエ設計のコンクリート船「アジール・フロッタン」も紹介しました。会期中には、津山洋学資料館を会場として、「津山から世界へ 一津山城東地区のまちづくり一世界的観光地を目指して」と題したシンポジウムを共催しました。

城東地区では、出雲街道に面し、津山城の防衛のため大きく鉤型に曲げられた「大曲り」の敷地にあった歴史的建物が焼失し、現在放置されたままとなっています。この焼け跡に、地域再生のシンボルとして地域再生核施設を建設し、その他の空き家の改修も含めて、城東地区を国際的にアピールできる「建築のまち」とすることを津山街デザイン創造研究所とともに構想しています。また、アジア各国で建築を学ぶ学生たちが参加する「アジア建築学生ワークショップ」を城東地区で開催することも計画しています。城東地区の街全体としての様々なリノベーションの可能性を、今後も継続的に探っていきたいと考えています。

展覧会の様子　©片岡憲治

津山市城東ギャラリー飯田　©片岡憲治

シンポジウムの様子　©片岡憲治

次世代を担う人材を育てる
さまざまな発表の場を提供します

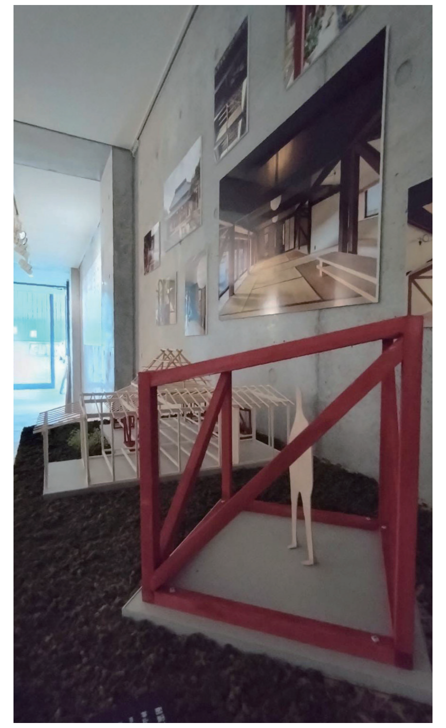
Architects of the Year 2024「Under Renovation / 改装中」

2024年10月26日から11月9日までの期間、「ギャラリー日本橋の家」にて若手建築家による企画展Architects of the Year 2024を開催しました。10回目を迎える本展ではコミッショナーにトーマス・ダニエル氏を迎え、「Under Renovation / 改装中」というテーマのもとに、古い建物の改築や増築によって、形、空間、素材の組み合わせによって根本的な新しさを生み出す9作品を紹介しました。大阪展の後、川西淳史氏と和田優輝氏が新たに出展者として加わり、2024年11月17日から12月1日までの期間、岡山県津山市の「城東ギャラリー飯田」で津山巡回展を開催しました。また、大阪と津山のそれぞれで、関連トークイベントも実施しました。

展覧会の様子　©大竹央祐

©二宮設計

©多田正治+遠藤正二郎


©髙橋勝

第10 回修士設計コンセプトマッチ2024

修士設計(研究成果を論文内容とともに設計プロジェクトとして表現するプロジェクト型論文を含む)に取り組む全国の建築系大学院学生達と大学の枠を超えた建築家講師陣が一堂に会するイベントを開催しました。9大学から10名の学生(内1名オンライン)が参加し、前半は全出展作品を全講師が巡回するポスターセッション形式での発表&質疑、後半は2グループに分けて講師と学生のグループディスカッションを行いました。最後に、9名の講師から、全体に対するコメントを発表しました。

開催日　2024年11月30日　(土)
会場　名古屋工業大学　NITech Hall

修士設計コンセプトマッチ2024の様子

建築が広く深く愛されるよう
多様な分野と連携します

第5回日本建築設計学会賞

日本建築設計学会賞は、近年、国内に竣工した建築作品を対象として、設計者による自薦のみでなく、誰でも街で見かけた好きな建築が他薦可能な、開かれた賞であることを目指しています。選考に際しては、若い世代に希望と勇気を与えるとともに、閉塞した社会に爽やかな流れをもたらすような作品を選ぶことを指針とし、全会員参加の投票によるなど評価のプロセスや方法も開かれたものとしています。第5回では、以下の6作品へ学会賞を授賞しました。2024年4月6日〜11日には、ASJ UMEDA CELLにて作品展を開催。

受賞6作品(応募順)

Node Kanazawa/奈良祐希
樹齢670年 大湫の大杉/野中あつみ+三谷裕樹
後藤邸/後藤武+後藤千恵（大賞）
椎葉邸/萬代基介
笛吹みんなの広場/髙橋一平
Grove(グローブ)/御手洗龍

Node Kanazawa

樹齢670年 大湫の大杉

後藤邸

椎葉邸

笛吹みんなの広場

Grove(グローブ)

これまでの受賞作

第１回（２０１５年度）
「四条木製ビル/第15長谷ビル」河井敏明
「西原の壁」桑原賢典
「石切の住居」島田陽（大賞）
「カトリック鈴鹿教会」竹口健太郎＋山本麻子
「日本キリスト教団東戸塚教会」平田晃久
「裏庭の家」松岡聡＋田村裕希

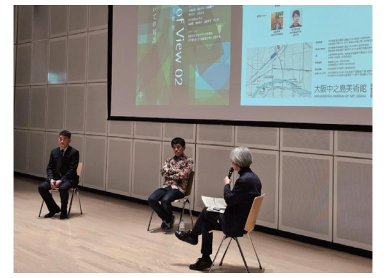
第２回(2017年度)
「Good Job! Center KASHIBA, Good Job! Center KASHIBA/STUDIO」大西麻貴＋百田有希＋榮家志保(大賞)
「houseA/shopB」木村吉成＋松本尚子
「舞多聞の家」畑友洋
「東京クラシッククラブ・森のクラブハウス・馬主クラブ棟」古谷俊一
「Topological Folding House」山口隆
「フクマスベース/福増幼稚園新館」吉村靖孝(大賞)

第３回(2019年度)
「伊達の家」青木弘司
「UTSUROI TSUCHIYAANNEX」垣田博之
「サンカクヤネノイエ」桑田豪
「古澤邸」古澤大輔
「daita2019」山田紗子（大賞)
「金峯神社」渡辺菊眞

第4回(2021年度)
「湖月庵」芦澤竜一＋陶器浩一
「House OS 3つ屋根の下」神谷勇机+石川翔一
「松原市民松原図書館」高野洋平+森田祥子
「TETUSIN DESIGN RE-USE OFFICE」平瀬有人+平瀬祐子
「甲陽園の家」畑友洋
「出窓の塔居」藤貴彰+藤悠子(大賞)

Another Point of View2　建築を拡張する視座

2024年12月14日、大阪中之島美術館ホールで行われた建築と庭に関するディスカッション。建築家・西沢立衛氏と、作庭家・小川勝章をパネリストに迎え、田路貴浩氏を司会とするトークイベントを企画しました。来場者多数の中で、増田友也の庭に対する論考を下敷きにした建築と庭に関する対話が、来場者に建築設計に対する深い示唆や刺激を与えることとなりました。


セッションの様子

展覧会や講演会の企画/出版事業

機関誌『建築設計』の発行などの出版事業をはじめ、海外から著名な建築家を招いた講演会や、誰もが建築を親しむことのできるような展覧会を企画し、メディアとして建築という文化を発信しています。

「論考　建築設計」論文を募集します

「建築設計」という分野について幅広い論考を募り、理論から実践まで含めた考察を、適切な査読基準に従って学術論文として評価し、論文集「論考　建築設計」としてまとめています。